

神奈川

湘南

英語

出題傾向と対策

出題傾向の分析

問1はリスニングテスト。昨年同様独自校共通問題で、従来の会話の応答を選ぶ問題・内容理解の問題以外に、地図を見て答える問題が加わりました。それぞれの選択肢が共通問題の3倍ほどの長さのため、聞き取る力に加え読むスピードも要求されています。リスニング以外では問4・問7が独自校共通の問題です。問2は文の正誤問題。誤りを含まない場合もあるので難度の高い問題です。問3が語順整序。選択肢に使用しない単語が含まれる点は平塚江南や多摩と共通していますが、求められる文にはやや高度な文も含まれます。問4が会話の流れに合うよう短文を書く条件作文。問われている文法事項は基本的なものなので点を落とせない問題です。問5・問6は全部で長文3題からなる読解問題。全て内容理解の問題で、クイズを解く会話もあり時間がかかります。問7は読解問題。問7では本文と付随するグラフの両方をきちんと読み取ることが求められています。

入試までに準備しておくこと

文法問題は2年生の範囲からも広く出題されます。読解問題の難度が高いため、文法問題ではきちんと点を取る必要があります。万遍なく復習をするとともに、整序作文の問題を数多く解きましょう。

読解問題では全体的に英文の量が非常に多いのが特徴です。また、長文での内容一致問題が本文に書かれている順番どおりでないこと、一部の問題が英問英答であることなど、時間を取られる点が随所に見られます。日頃から多くの長文に触れ、読むスピードを上げましょう。また、同じく分量の多い横浜翠嵐の過去問も多く解いて練習するのもよいでしょう。

条件作文は近年独自入試でますます出題が増えている分野です。文法の復習をきちんとするとともに、短文を書く練習や和文英訳の練習をしておきましょう。

リスニングは、継続的に英語を聞き取る練習が必要です。英検準2級・3級程度の聞き取り問題で練習することが効果的です。

英語 分野別出題形式		22年度	21年度	20年度	
リスニング	記号	内容理解(含英問英答)	8	8	10
	記述	英問英答			
		和問和答			
小計		8	8	10	
語彙	記号	綴り		4	4
		語形変化			
		発音・アクセント			
小計		0	4	4	
文法	記述	適語(句)選択		2	5
		適語(句)補充			
		語順整序	8	8	4
	記号	部分英作			
		完全英作			
小計		4			
小計		12	10	9	
読解	記号	内容理解(含英問英答)	9	13	11
		内容一致	12	5	4
		段落・文整序		2	
		段落・文・節挿入	3		5
		適語(句)・文選択		8	5
	小計				2
	記述	内容理解(指示語など)			
		語形変化			
		空所補充	2		
		和文英訳			
		部分英作			
英問英答					
小計		4			
小計		30	28	27	
合計点		50	50	50	

神奈川

湘南

国語

出題傾向と対策

出題傾向の分析

例年通りの大問 3 題の構成で、総小問数は 27 題でした。

問一は例年通り、芸術をテーマにした論説文が出題されました。選択問題では文章の内容が理解できていることを前提として新たな内容を問われることが多いので、設問を読解する際にも注意が必要です。また、文章中の表現をさまざまに言い換えた選択肢が並べられているので、語句の意味に関する知識も必要です。

問二は海外小説を翻訳した小説文からの出題でした。これは、湘南高校が独自入試を採用して以来、ずっと続いている傾向です。設定を想像することが難しいと感じる人も多いでしょう。設定や、登場人物の心情を暗示する表現を抜き出す出題があるため、文章中の表現には常に注意しながら読む必要があります。例年、文章中の傍線部の漢字の書き取り問題が 4 題出題されます。小学生で学んだ漢字が出題され

ますが、文脈上の意味をとりにくい、慣用表現の一部が出題されることもあります。よく使われる言い回しに慣れておく必要があります。

問三は 22 年度に初めて導入された「独自校共通問題」の古文です。昨年までの古文は文章が長く、ストーリーも複雑で大変得点しにくい問題でしたが、「独自校共通問題」になって、内容を理解しやすくなり、得点しやすくなったと思われます。

入試までに準備しておくこと

漢字の書き取りは、慣用表現をよく学習しておく必要がありますが、いわゆる慣用句やことわざから出題されるわけではないので、さまざまな文章に触れて、日常ではあまり使わないような文章語に慣れておくといでしょう。また、小説文は、単純に登場人物の心情を追うだけではなく、文章中の表現にも着目する必要があります。論説文は、人間のものの見方に関するテーマが頻出です。情報、言語、知識など抽象的なものについて論じた文章に慣れておくといでしょう。

国語 出題分野一覧表		22年度		21年度		20年度	
		記号	記述	記号	記述	記号	記述
漢字 語彙	漢字の読み取り		4		4		4
	漢字の書き取り						
	四字熟語・語彙						
文法・表現							
敬語							
韻文	俳句(鑑賞文含む)						
	短歌(鑑賞文含む)						
	詩(鑑賞文含む)						
資料を含む文章							
小説	心情を問う設問	4	6		2	2	
	場面を問う設問	2	6	2	8	2	12
	抜けている表現の補充				2		
	本文との正誤問題			2	2		
論説	接続語の補充						
	傍線部の理由を問う設問	4				2	
	傍線部の説明を問う設問	4		6	2	6	2
	語句				2		
古文	本文との正誤問題	6	4	4	4	4	4
	主語を問う設問	2					
	仮名づかい・語彙						
	傍線部の理由を問う設問			2		2	
	傍線部の説明を問う設問	2					
	本文の内容を問う設問	2			4		8
本文との正誤問題	2		4		2		
条件作文			2				
合計			50		50		50

出題傾向の分析

出題構成は、大問が昨年度よりも1題増えて6題になり、総小問数は17題でした。

毎年、問1は8問の小問集合となっていて、前半は基礎的な計算が続くので手堅く得点したいところです。(カ)は回転体の体積の計算、(キ)は円と平面図形の問題、(ク)は格子点の問題で、いずれも類題を経験したことがあれば解くことができる基本的な問題です。問2は例年通り関数の出題があり、今年も面積に関する問題が出されています。この単元は今年も他の独自問題出題校と共通の問題になっていますが、昨年度の関数の共通問題と比較して難易度が上がっています。問3の確率は複雑な計算をする必要はありませんでしたが、例年のさいころ2個を使う問題とは異なる問題が出されました。問4では2種類の文章題が出題されました。(ア)は式を作ることではできても計算をすることが難しく、(イ)は式を作ることが難しい問題でした。問5は空間図形からの出題でした。昨年度は湘南独自の空間図形の問題を出題していましたが、今年はこの空間図形の問題も他の独自問題出題校と共通の問題になっています。また、難易度は昨年度よりも高くなっています。問6は円と直線に関する問題で、全文記述形式の証明問題が出題されました。こちらも、他の独自問題出題校と共通の問題になっていました。

入試までに準備しておくこと

昨年は大問6題のうち2題が他の独自問題出題校と共通の問題であり、この2題の難易度はあまり高くありませんでした。一方、今年は大問6題のうち3題が共通の問題となっていますが、この共通問題の難易度が昨年度よりも高くなっています。特に関数と空間図形の難問については経験が必要ですので、神奈川県独自の入試以上のレベル、すなわち難関国私立高校や都立独自入試の問題に触れておくことが望ましいです。

証明やその他の単元の問題の対策も、湘南の過去問を解くのはもちろんのこと、他に独自入試を行っている神奈川県内の学校の過去問や、他の都道府県の共通入試の過去問など、様々な問題に触れておきましょう。

湘南の入試問題を時間内に解ききるのは困難であるため、後回しにする問題の見極めも重要になります。

領域	内容	配点		
		22年度	21年度	20年度
数と式	数の性質・表現			
	数の計算			
	式の計算	2	2	2
	平方根	7	5	5
	多項式の乗法			
	因数分解		2	
	小計	9	9	7
方程式	1次方程式		2	2
	連立方程式	3		2
	2次方程式			2
	方程式の応用			
	不等式・不等式の応用			
	小計	3	2	6
関数	比例と反比例		3	
	1次関数	3		
	2次関数	3		
	変化の割合・変域			
関数と図形	直線と曲線	3	3	6
	関数と図形	3	3	
	小計	12	9	6
三角形・四角形	角度			2
	作図		6	
	合同			
	相似			
	三角形			3
	平行四辺形			
円と平面図形	円周角の定理	5	6	5
	円と弧・弦・接線			
	線分、線分比		3	
	面積、面積比	3		
	点の移動と図形			6
空間図形	線分、線分比	3	3	3
	面積、面積比	3		3
	体積、体積比		3	3
	点の移動と図形			
	回転体、球	3	3	
	小計	17	24	25
確率	場合の数			
	確率	6	6	6
総合問題	数と式	3		
	図形			
	その他			
	小計	9	6	6
	合計	50	50	50